



健康児調査に當りて

平第二小學校長 千葉 右近

(一) 近時國民精神位向上の緊要を以て生徒各自健康に要するものが朝野の世論と對する自認の啓蒙に又父兄して強調せられ殊に次代國語の京平保健に對する關心なる學童生徒の健康状態の喚起に資せんとするの調に就き識者に依り漸く關心を養成し順次紙上に發表し持たるに到りしことよろしく諸賢の御批判を乞國進進展の上に將學校衛生の發達の上に向ふべきである。

朝詣り

恩地 淳一

出征された兵隊さんの武運を祈る朝詣り。露はうすうす地をばうて空にまたあるはそい月霜がれ田圃の露行けば。

平局俳會 (四月旬會)

○山吹のひとむら咲ける露家かな 節女
○よらこの跳んで仰ぐや登の月 果秋
○山吹の音なく散りぬ背の月

閑談夜話 (四)

平華生

○ペンネームの「筑紫山」これは日本興業銀行の總裁や鐵道院總裁をやらせ、又書家として人だ、この人は生家が相當有名であつた。田舎の國の、供の時から小説や文藝物は波瀾山の如き、土地の生、か、愛好してつとつと家業を勤めた。

天気豫報 今頃は南東の風、吹雨模様、明日は南西の風、曇晴。

△新井白石(享保一〇) 詩人生 田村月自(昭和五) △瀧露水路會議再會 昭和二〇 △民政政務委員會第一回委員會(昭和五) 須及櫻花爛漫時



秘密小天堂

中川 雨之助

「おい小夜美。きさまの顔を立って、又と引いたぞ。有難いと思つたら、情夫を拙者に紹介しろよ。そして拙者の顔も立てろよ。」



「愉快々々。これからは、小夜美が紹介の役を勤めて、何か人をつかり仲善にしてしまつた。俊作は、昨夜歸つて来たので、片手、背に汗を流して、はつと息を吐き出す。

胸を突かれたのだ。これは俊作で無く、後頭主の助が、立つて来たからである。主の助は彼女の愛人である。主の助は彼女を愛するが、主の助は、座敷を見廻し、俊作より二歳下の若者で、傍近くへ坐つた。失態もあつた。背のすうと眼の不快とあり、その性怒りもなく、顔に汗を流す。主の助は、座敷を切られるより、俊作と同じ柳生の道幸に、主の助は、座敷を見廻し、俊作より二歳下の若者で、傍近くへ坐つた。失態もあつた。背のすうと眼の不快とあり、その性怒りもなく、顔に汗を流す。

石綿ムシカマド 各種特價販賣 電話三七七番 阿部石炭店 和洋銅物 釜屋商店

お節句飾りの! 値下げと謹告 正札賣に付

視力保全運動 眼鏡専門 玉屋眼鏡店

刃織田材木商店 各種特價販賣 電話三七七番

和洋 建築 家具 製作販賣

片寄製作店 砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します。

紳士の喫茶店 グリルバツカス 女店員募集

磐城の御みやげ品 靈峰羊羹 (名産柿煉)

故障の起りぬ 原口のラジオ 専門店

一般貨物運搬 迅速低廉に御取扱ひ致します。

仙台礦山監督局分室

平市に誘致願る有望

敷地提供等て向背決定

地方炭礦の總元礦たる仙臺礦山監督局が常務に分室を設け、生産能率増進、災害防止、其他礦業發達上の指導誘致に資する爲め、湯本町を有望候補地とし、湯本町を計画を進めて居る旨既報の如く右實現後に於て其の機能が如何に發揮されるかは土地柄各方面から相當の關心を以て迎へられてゐたが、右は警察署をはじめ各官廳其他との連絡上どうして平市中で無難に都合が好むらうか、此際市として敷地でも無難に提供出来る程の熱意があるに於ては之が誘致に強き困難では無いと観られ、而も最近新設の保健所に對し此種の誠意を見せた市の事であり、極めて可能性の問題とされて居る。

平市にも連絡員

紹介所の國營に伴ひ

各地との連絡完備

平職業紹介所の國營は七月下旬から實施されることとなつて居り、これが前提として此程の關係で本縣にも「職業紹介」を新設することになり、一兩日中に官制改正の件が官報を以て告示されることになつた。

この國營職業紹介所は初年度に主要都市を含む道縣に五ヶ所乃至六ヶ所、他の府縣には二ヶ所乃至三ヶ所を以て此職業紹介所長に初年度は百五十名乃至百六十名を任用し、何れも主任官又は主任待遇として採用する事となつた。

既に二千餘圓(公會室)

△十六日(一、一三〇圓) 清野キヨ 近藤繁治 根本莊次郎 志賀政光 吉野勇 北川芳夫 吉田定太郎 鈴木千代吉 齋藤一 白土喜伯 大久保ヨシ 齊藤千代 石崎幸一 鈴木正男 齋藤敏實 島海菊五郎

△十七日(一、二七五圓) 藤澤治郎三郎 平電氣鐵工所 吉野健助 山田麻袋工場 渡邊茂 山崎元三郎 馬田誠 吉野製作所 鈴木亮 端山軍治 關與三郎 平澤信通 大峰庫 市原三三男 久保林之助 安藤金治 大谷次郎 平製作所

初夏の旅先から

警中見學團第三報

午前五時三十分見學團の山々に入つたのである。山は約一里半程の山だ。吉野に一本道で出ても坂である。全山至る處樹木は午後七時半大坂市、上本町多く花の吉野山の山がある。山は約一里半程の山だ。吉野に一本道で出ても坂である。全山至る處樹木は午後七時半大坂市、上本町多く花の吉野山の山がある。山は約一里半程の山だ。吉野に一本道で出ても坂である。全山至る處樹木は午後七時半大坂市、上本町多く花の吉野山の山がある。

坪當り八斗五升

今午前十時迄の降雨量

昨十七日から降り出した雨を附録、市有池沼丹後池は夕方から夜へと加速度的に増え、一時は出たが現在の期間が未だ満水水をさへ愛ひられた程で、今日に至るも向は降り續いてゐるが、神谷農事試験場の観測による今午前十時迄の降雨量は四六二ミリ、坪當り雨量は四六二ミリ、(八斗四升五合四六)と云ふ。近來の大雨で葉の落葉の雨川には早晩水が溢れ、川に四七手前が仕掛り、横川田、松永、小松(五斗五升)と云ふ。二十三日警備高等女學校の夏祭りの光景を見た。今一匿名婦人が金百圓を盗み、専門業として社市會に寄付された。

佐藤記者榮轉

廿二日高崎へ赴任

東京朝日新聞通信部主任佐藤太郎氏は、今度の社内異動により高崎通信部主任に榮轉、來る二十三日午前十時頃、高崎へ赴任する。佐藤氏は、高崎通信部主任に榮轉、來る二十三日午前十時頃、高崎へ赴任する。佐藤氏は、高崎通信部主任に榮轉、來る二十三日午前十時頃、高崎へ赴任する。

戦時下の手不足に

皆様の御心勞を想ふ

元平驛員 坂本一二君(通)

内地は既に無事と思はれますが先づに段々から御容赦下さる。御心勞を想ふ。皆様の御心勞を想ふ。元平驛員 坂本一二君(通)。

く聴を中陣

(151)

内地は既に無事と思はれますが先づに段々から御容赦下さる。御心勞を想ふ。皆様の御心勞を想ふ。元平驛員 坂本一二君(通)。

斯んなこともあり記

小名濱商港後日物語

赤井 嶽男

其時中野吉代代議士は小有二年、當時に於ける同代議も一與である。小名濱商港後日物語。赤井 嶽男。

白米食は駄目だよ

千代松爺さん満悦

「体位向上は先づ白米食を勵行、ひたすら皇軍糧食を祈りつゞけて來る。千代松爺さん満悦。

前線に出發

小松 劍君

前線に出發。小松 劍君。御心勞を想ふ。皆様の御心勞を想ふ。元平驛員 坂本一二君(通)。

好問助役決る

戸渡 友

好問助役決る。戸渡 友。御心勞を想ふ。皆様の御心勞を想ふ。元平驛員 坂本一二君(通)。

豊間村長

豊間村長

豊間村長。豊間村長。御心勞を想ふ。皆様の御心勞を想ふ。元平驛員 坂本一二君(通)。

端午節句の飾

武者人形 御座敷 職賣

武者人形 御座敷 職賣。森下商店。御心勞を想ふ。皆様の御心勞を想ふ。元平驛員 坂本一二君(通)。

各種工器具類

現在在庫品

各種工器具類 現在在庫品。森下商店。御心勞を想ふ。皆様の御心勞を想ふ。元平驛員 坂本一二君(通)。

井尻七三郎商店

井尻七三郎商店

井尻七三郎商店。御心勞を想ふ。皆様の御心勞を想ふ。元平驛員 坂本一二君(通)。

根本産人科

根本産人科

根本産人科。御心勞を想ふ。皆様の御心勞を想ふ。元平驛員 坂本一二君(通)。

森下商店

森下商店

森下商店。御心勞を想ふ。皆様の御心勞を想ふ。元平驛員 坂本一二君(通)。